

台風二十三号から一年後

豊岡市立田鶴野小学校

六年 岡 晃貴

平成十六年十月二十日に、日本列島そして、ぼくたちの住んでいる豊岡市を台風二十三号がおそいました。そのため、大雨・洪水注意報が、そしてついには、洪水になったり、土砂くずれが起きて、たくさんの方々に被害がありました。

その日、ぼくは、ずっと家で待機していました。次の日も家から出られず、その次の日も出られませんでした。だけど、お母さんが台風二十三号が来る前の日に食べ物を買っていたので、ずっと家で待機していました。

ぼくのおばあちゃん「はがじゆら」という所に住んでいて、とても心配しました。なぜかというところ、水が家の階段まで来ていたのでも心配しました。そのとき思ったのは、なぜひなんしなかったのかです。ひなんしていません、安全だし、心配しなくてもよかったの

にとぼくは思いました。

ぼくの家とおばあちゃんの家場所によつて、水の量が多い所や少ない所があるので不思議に思えました。あと、一日市地区でもいろいろな場所によつても水の量がちがうのでぼくは、そんなに場所は変わらないのにと不思議に思いました。

台風は、すごい力でこわいと感じ、これから台風に対してもっと気を付けたいと思いました。

あれからちょうど一年がたちました。一年たったら、あんなことがあったなあ、こんなことがあったけど思いました。

今日、道徳や全校集会をやって、台風は、豊岡市に大きな災害をあたえたな、田鶴野地域、小学校に大きな災害をあたえたなと思いました。

ぼくは、台風に「もう一生来るな」と言いたいです。そして、本当に来なかった方がいいのになと思いました。